

このトラックから、ヒロインと主人公との距離が縮まったようなトーンでお願いしたいです！

今までは嘘の口実を作るためのエッチだったのが、今回からはヒロインの好奇心によるものという立ち位置です！

(主人公が先に教室で待っている)

【位置：中 距離：中】

(落ち着いたトーンから入る)

あ、先輩。

すみません、お待たせしてしまつて。

私から連絡したのに。

少し、先生に呼び出されちゃつて。

(髪をくねくねしながら視線を外す)

……いえ別に、大したことでもないんですけどね。

ただすこし、中間テストの結果が悪つたらしくて……。

(自嘲気味なものの落ち着いたトーンで)

はは、意外ですか？

まあ文芸部っていったら、勉強できそうなイメージですもんね。

先輩も、まじめな本とか？読んでましたし。

(だんだんフェードアウトしていく感じで、エピソードで語るのぽかす感じで)

んう、ただ私、別に勉強とか本が好きというわけじゃないんですよ。

あの部に入ってたのも、特に好きなことがなかったからで……。

(空気をリセットするように)

ああいえ、すみません。

まあ、私も普通の女の子ってことです。

それに最近は、こうしてえつちなこととか、家でも動画とか見たりして、

あまり勉強に身が入らないっていうか……。

あ、先輩。

お隣の席、失礼しますね。

はい、ありがとうございます。

(隣の席に座る)

【位置:やや右 距離:近】

んっ……。

で、そのえつちなこと、なんですけど。

今日も来てもらった理由がそれでして。

んふ、もうわかってますよね。

最近の話に浮きそうになることもなくて、

悩みは解消されてきてはいるんですけど……。

(個人的な興味からというのをやや恥ずかしそうに)「えと」「は目をそらす」

……えと、耳にしちゃったんですよ。

その、お口でするっていうの……。

してますか？

女の子のお口のなかにおちんぽをいれるの。

ああ、そうです、フェラチオってやつ。

さすが、えつちな知識もたくさん知ってますね。

それで私、そのフェラチオっていうのに、興味がありまして……。

おまんことか、手とか、そういう一般的な？

プレイじゃなくて、今こうして話してる口で、

おちんぼのこと知れたら、どんな感じなんだろうなって……。

(主人公の顔を覗き込む)

【位置：中 距離：近】

(ゆっくりからかうように)

どうですか？

私のここ、興味ありません？

あたたかくてざらつきもある舌と、唾液といろんな刺激のある口と喉……。

おちんぼを入れて、じゅぷっじゅぷってかき回したら、気持ちいいと思いませんか？

(距離感を戻す)

……先輩。

私の顔を見ながら、ここ、むくむくさせてます。

妄想しちゃいましたか？

今みてるこのお口で、気持ちよくなっちゃうこと……。

んふ、じゃあしちゃいましょう？

……はい。

また、ズボン脱がせますね。

今日も私、脱ぐ必要がないので。

腰、浮かせてもらえますか？

はい、ありがとうございます。

SE:ズボンを脱がせる音

(ズボンを脱がせ自然と距離が近くなる)

【位置：やや右 距離：近】

んっ……。

失礼します。

んっ……。

んっ、んっ……。

んっ……。

はは、もうガチガチですね、これ。

なんか今日の先輩、やたら期待してませんか？

さっきからそわそわしてますし……。

その視線も、いつもよりやらしい気がしますけど。

(少し明るめな感じでからかう)

そうですか、そんなに楽しみなんですね。

先輩の大事なところ、舌でぺろぺろってされるの。

いったい私の目と口、どっちを見て話してるんですかね。

なんか、ちよつとこしよぶつたいです。

ふう、いいですよ。

おつきくしてるこれ、いっぱいかわいがってあげますから。

……えと、じゃあ少しだけ足開いてもらえますか？

はい、で、その間に私が膝づく形で……。

失礼します。

(フェラの位置に移動)

【位置：中 距離：近】

んっ……。

んっ……。

(目の前のおちんぽを見ながらゆっくりあたたかめで)

ふふっ。

おつきいです。

手でしたときはまだ可愛かったのが、

こう、目の前にすると迫力が……。

特に、亀頭につながるところ、筋みたいなのが張っていて。

これ、ちよつとグロいですね。

こんなの奥に先輩の顔があるのも、変な感じです。

※くこからはチン嗅ぎが続くので「くんくん」や「すー」「はー」は呼吸です！

(独り言のようにつぶやきながら)

あと、この臭い……。

汗と……なんだろう。

くんくん、すーっ

チーズですかね？いや、イカ……？

嗅いだことないような臭い……。

すーっ、はー。

くんくん。くん、くん……。

……ん、おちんぽ、また震えて……。

こしょぐつたいですか？

私の鼻、おちんぽの先端に触れるくらいの距離ですーはーされるの。

すーっ、はあ……。

んふ、そうですか。

目の前で先輩のがぴくぴくしてて、ちよつとおもしろいです。

この臭いも気になるので、もう少し……。

(このチン嗅ぎはやや強めで)

んっ……。

くんくん、すーう、はぁ……。

すーっ、はぁ……。

うん、やっぱりわからないですね、これ。

でも、身体の中があったかくなる感じはして。

すーっ、はぁ……。

ふう、とにかく不思議です、おちんぼの秘密。

(この息を軽く吸うだけ)

すー……ふう……。

あの先輩、そろそろ限界ですか？

これ、もうはちきれそうになってますけど……。

※

※ 主人公の顔を見上げながら、軽く舌先で触れる程度

……ん、わかりました。

じゃ、このまま舐めてみます。

まずはこの、裏の方から……。

ん……。

んちゅうっ、ちゅっ、ちゅっ、ちゅう……。えろ、れろ、ちゅっ、ちゅっ、ちゅうっ……。

これすごく跳ねてます……。

まだペロペロと舌先でなぞってるだけなのに……。

そんなに気持ちいいんですか？

女の子のお口。

んちゅっ、ちゅっ……。

ふふっ、そうですか。

じゃあまた続けますね。

んっ……

ちゅっ、ちゅっ、ちゅっ、えろえろ、ちゅっ……。んちゅっ、ちゅっ、ちゅ……。

はぁ……。

おちんぼの味……。

もつと苦みとかするのかと思ってましたが、

案外普通な感じなんですネ。

匂いと比べて刺激が少ないからでしょうか……。

ちゅっ、ちゅっ、ちゅっ……。

んふ、先輩もそう思いますか？

まあ自分じゃ出来ないですもんね。

お腹の下、顔をうずめるみたいにおちんぼぺろするなんて。

ちゅっ、んちゅっ……えろえろ……。

ふう。

少し慣れてきたので、このまま舌だしたまま上下に動いてみます……。

※

※ 根本から舌先を這わせたりするフェラ

んっ……

えろえろ、えろ、えろ、ちゅっ、ちゅっ、ちゅっ……。んちゅっ、ちゅっ、ちゅ……。

はぁ……。

こんな感じ、ですかね。

思ったより段差があつて、届かなかつたりもしますけど……

えろ、えろ……。

ちよつと変態的で、背徳感がすごいです。

届くように舌を突き出したり、顔を動かしたり……。

んちゅつ、ちゅうつつ、ちゅつ、ちゅつ、ちゅうつ……。えろえろ……。

先輩は、どんな気分ですか？

私の舌が、おちんぽの根本から……。んっ、んちゅうつ、ちゅつ。

このクビレまで、いったりきたりする光景……。

上から見下ろすの。

えろ、えろえろ……。・

んふ、おちんぽまた反応した。

ひよつとして、そういうの好きなんですか？

その、女の子を責めるってやつ……。

んちゅうつ、えろ、えろ、ちゅつ……。

なんというか、さっきの言葉、ペットにしているみたいじゃないですか。

四つん這いみたいな体勢で……。んちゅつ、ちゅつ。

先輩の感じてる顔見ながらするフェラチオ……。

んちゅつ、ちゅつ、ちゅつ、えろえろ、ちゅうつつ……。

はは、これ……。

へえそうですか、なんか意外ですね。

先輩って結構やさしくて、奥手な感じがするのにな。

ふう、なるほど。

じゃあ。

もう少しこのまま、ペロペロっしてあげますね。

んちゅ……んちゅ、んちゅ、ちゅ、ちゅう、ちゅう、ちゅう、ちゅう、れろ、れろ、れろ、れろ、ちゅ、ちゅ、ちゅ、ちゅ……。

はぁ……。

先輩、すごい顔。

絶対女の子の前でしたらいけない顔してますよ。

それも、相手は後輩なのに。

んちゅっ、ちゅっ……。

そんな、性に飢えた変態みたいにすうはあ言ったら、
年上の威厳丸つぶれって感じです。

んちゅうっ、ちゅっ、ちゅう……えろえろ、えろ……ちゅう、ちゅう……。

私は別に、いいですけどね。

先輩とはこうやって……

ちゅっ、ちゅっ……。

えっちなことする関係でしかないですし……。

感じてる顔も、いろいろ見てきましたから。

んちゅっ、ちゅっ、えろ、えろ……。

ふう。

ふふっ、よかったですね。

相手に気遣うことなく気持ちいい顔ができて……。

※

(フェラの距離から少し離れる)

んっ、ふう……。

あの……。

これ、そろそろ口で含みますね。
ピクピクが激しいので……。

(口をあけながら)

私のこの……。

あったかいお口の中で、固定しようかと。

……はい、それじゃ、失礼します。

※ 7割くらいまでを口に含むフエラ

あー……ん……。

んちゅる……んちゅう……ちゅつ、ちゅう……んちゅる、んちゅる、んちゅる
る……んちゅ、んちゅ、んちゅう……。
はあ……。

ふうう……。

ふふっ、気持ちよきそうですね。

さつきまでは大事そうにペロペロしてたのに、

今では獲物を食らうみたいにな、おちんぼの奥まで……。

あー……ん……。

んちゅ……んちゅ、ちゅ、ちゅう、ちゅつ、ちゅう、れろ、れろ、れろ、れろお……んちゅ、んちゅ、んち
ゅう、んちゅう、んちゅ、ちゅつ、ちゅう、ちゅる、ちゅう、ちゅ、ちゅう……。
はあ……。

はは、やっぱりすごい反応……。

私が前後に動かすたびにピクピクしてます。

んっ……。

でも、お口の中でおちんぼが震えると、顎が外れてしまいそうになりますね……。
はあ、はあ……。

いえ、大丈夫ですよ。

私の方もこれ、結構楽しいので。

ああ、楽しいというか……。

なんとなく、クラスの子がこういうことしてるのに納得したというか。

ほら、こんないけないこと……。

んちゅうっ、ちゅう……。

普通体験できないじゃないですか。

男の人を気持ちよくするために、お腹に向かって頭を揺らすなんて……。

んちゅうっ、ちゅうっ、ちゅうっ、ちゅうっ……。

それに、それを教室でしてるんですから……。

この背徳感、癖になってしまいそうです……。

(口に含みながら)

私の制服も、先輩のスボンも……。

涎でベトベトになってしまつて……。

んちゅうっ、じゅるっ、じゅるっ……。

でも、おちんぼじゅぶじゅぶしたままで……。

んちゅうっ、ちゅうっ、ちゅう……。

ふう……。

(フェラから離れおちんぼ越しに主人公の顔を見つめ少し感情を見せる)

ふふっ。

……ね、先輩。

私達いま、いけないことしてますね。

(この水音はやや激しめで、ヒロイン主体のフェララストです)

んちゅっ、ちゅっ、ちゅっ、ちゅっ……じゅるるっ、じゅるっ、じゅるっ……っ。
ふう、はぁ……はぁ……。

(フェラから離れ、舌先でつつくようにしながら)

んっ……。

おちんぽの味、さっきよりも刺激が強くなってますけど……。

私が敏感になってるだけですかね……。

んちゅっ、ちゅっ、じゅるっ、じゅるっ……

んっ、それとも……。

先輩も、いけないことで頭、おかしくなりそうですか？

んえろ、えろ……。

んふ、じゃあ先輩……？

私の頭に手をのせてもらえますか？

とりあえず、ほら、ね。

(こしょぐったそうに目を細めながら)

……ん。

ふふっ、やっぱりおつきいですね。

それで、そのまま……。

(口に咥える)

あーん。

その手でわたしの頭、お腹に引き寄せてください……。

ん、先輩……？

(口から離す)

どうしました？

大丈夫ですよ、心配しなくても。

いざとなったら合図いたしますので……。

ほら、せつかなんですから。

もっといけないこと、しちやいましょ？

んっ……。どうぞ……。

※くこからのフェラは水音を多く含んだ感じでお願ひしたいです！

んっ、んんん……っ。

んぶ……っ、んちゅ、んちゅ、んちゅ、んちゅ、んちゅ……んじゅるっ、んじゅるっ、んちゅるっ、んちゅるっ、んちゅるっ、んちゅるっ、んじゅるるる……

ぶはあ……っ。

ふう……はあ……。

(息を整えながらからかう感じで)

はは……。

どうですか？

年下の頭、両手で抑え込むの……。

自分の好きなペースで、自分の気持ちいいところに、

女の子の顔をつかうの……。

はあ、はあ……。

ふふっ。

先輩、声……。

そうですね、そんなに気持ちいいんですね。

もっと、いいですよ……。

私ももっと、喉の中でおちんぽ、感じてみたいので……。

女の子を責めるのが好きな先輩、もっと見せてください……。……。

(射精後も深くまで啜えたまま、ゆっくりと離す)

んっ、んんんんんんん……っ。

ん……んっ、んっ……んっ、ふう……んっ、ふう、んふう……。

んっ、んくっ、んくっ……。

「けほっ」は台詞ではなくむせる感じでお願いします

んう、ふう……。

けほっ、けほ、けほ……。

はぁ……はぁ……。

(疲労からくたあつとした様子で息を整えながら)

はは、今日も量すごいですね……。

喉の奥、ぴたあっておちんぼくっつけたままのお射精……。

はぁ、はぁ……。

(精液を飲むことに特別な感情がない)

ふう……。

え？精液ですか？

全部飲みましたけど……。

(口をあけ飲んだことをアピール)

ほら、あー……。

服についてしまったら臭いとか、残りそうですし。

それに正直、直接流し込まれたせいで飲むしか……。

(やや明るめなトーンで)

……いえ別に謝らなくても。

ほんの少し苦しかったけど、私もちょっと満足感というか、

まあ途中で加減されてもなんか、嫌な感じしますしね。
ん、でも、流石にこの髪は流石に……。

（教室でこんなこととして同罪ですねと含みを持たせる）

見て下さいよ先輩。

お射精する瞬間、ものすごい勢いで動かされてたので……
ほら、もうこんなになってます。

後輩女子の、命なんて言われる髪が……。

今気づいたような顔してますけど……。

そんな、我も忘れるくらいに気持ちよかったんですね。

んふ、いけない先輩。

……あ、おちんぽ。

ほんの少しですけど、精液がまた垂れてきてます……。

近くで見るとこういう小さなことでも目につきますね。

これ、舐め取ってあげます。

せつかくこんな状態になるまでしたんですから。

最後までしっかり……。

ん、ついでにまた写真撮りながら……。

ん……。

んちゅ……んちゅ……んちゅ……んちゅ、んちゅ、ちゅう、れろ……。

はあ……。

さっきみたいに私の頭、手をおいてもいいですよ。

……んふ、また。

なんかこのアングル、面白いです。
この人にされてしまったんです、みたいな感じで。
先輩ひどい人。

SD: 写真を撮る音

ん……、

んちゅ……んちゅ……んちゅ……ちゅっ、んちゅ……。

はぁ……。

ふう、きれいになりましたね。

なんか今日の私達、いつもより激しかった気がします。

フェラチオの感覚もつかめましたし、
意外に積極的なところも見れたので、
わたし的には満足でしたけど。

んふ、先輩も？

そうですね、ならよかったです。

(フェラチオの体勢から離れ立ち上がる)

【距離::近 位置::やや右】

じゃあまた、お掃除しないと。

えづいちゃった唾液とかで、この床すべいことになってますから。

疲れちゃったので、手伝っていただけると。

……ん、ありがとうございます。

あ、そうだ先輩。

すっかり忘れてましたけど、これ……。

SF: 鞆から取り出す音

映画のチケット。

クラスの子から「彼氏といく予定がなくなっちゃった」なんて貰ったんですけど、

よかったら行きませんか？

今週の日曜日、あいてます？

(締めなので温かみのある感じで、「別にそういう関係じゃないのになんか嬉しい」みたいな)

ふふっ、よかったです。

じゃ、私ティッシュ持ってきますので、

先輩も動ける準備お願いします。